

「未来の沖縄」

沖縄市立美里中学校 2年生 ^{さかた}坂田 ^{みさ}朱裳

カラフルな魚達やジュゴンの家族がいっぱいの青くてきれいな海、騒音の無い澄んだ空、南部から北部までのびているモノレールに乗って、旅を楽しんでいる週末、夢いっぱいにあふれるテーマパークでの彼氏とのデート。ゆったりとした時間の流れにいやされる私達の島沖縄。これは皆、私が10年後に描いている未来の沖縄です。

現在の沖縄は、基地問題で揺れ、海や空が汚されています。私の通う中学校は、嘉手納基地の近くにあり、爆音を発する飛行機が朝早くから、夜眠りにつくまでとびかっています。授業中も、先生の声が聞こえないぐらいの騒音で飛来しています。時折り、飛行機が落ちたのではないか。戦争が始まったのではないかと思う程の恐怖を感じることもあります。そんな基地が本島中部の真ん中に位置しているのです。私たち一般市民は基地を通り抜けることができないので、周辺道路では、朝夕の通勤、帰宅ラッシュ、週末のお出かけの時には大渋滞がおこっているのが日常です。又レンタカーに乗った観光客が基地入口に進入し、ガードマンに注意され引き返していく姿もよくみかけます。

今年の四月に愛知県から、友達家族が沖縄に遊びに来ました。その家族はレンタカーをかりて、三泊四日で本島の観光名所をめぐり、初めての沖縄旅行を満喫していました。友達家族に今回の旅行で何が良かったですか？と質問したところ、何ととっても壮大なスケールの水槽が印象に残った美ら海水族館や、長い橋を渡り、見えてきた海がとてもきれいな古宇利島、青い光が注ぎ魚達とたわむれながらダイビングした青の洞窟、色鮮やかな首里城など沖縄らしい自然や景色をこの目で見て、感じて触れることができたのがなによりも素晴らしかったと答えてくれました。だけど一方ではこんなことも話していました。友達家族に会うため、那覇から中部に向かう途中大渋滞にはまっていた所、突然今まで聞いた事のない爆音で飛行機が目の前を飛んで行き、落ちないか？と不安になったというのです。「普天間基地が世界一危険な飛行場というのは知っていたが、あそこまでヒドイとは思っていなかったよ！！沖縄の人は毎日あの音を聞いて生活しているんだね、怖いよ。地図を見ると、本島のど真ん中に基地があるから、道路も限られてくるし不便なんだね。テレビでしか見た事がないから、実際あの爆音を聞いてびっくりした。」と話していました。

私はそれを聞いて、初めて沖縄を訪ねてきてくれたこの家族に、マイナス面を見せてしまった事にすごく残念な気持ちにはなりましたが、沖縄の現状を体

験し知ってもらえた事は、意味のあることではないかと思いました。

後日、愛知の友達からメールが届き、沖縄での観光がとても楽しかった。又何年後かに行きたいということのほか、テレビから沖縄の基地問題のニュースなどがとりあげられると、家族で釘付けになって見ているという内容が送られてきていました。

私は、観光を通してたくさんの人に沖縄の良さや問題を感じてもらい、その人たちから意見を聞くことで、よりよい観光地として大切なことは何かを考えることができると思います。そうすることで、悪いところを改善していくことができ、沖縄の良さを引き出す、環境づくりができるのではないかと考えます。

私たち沖縄がかかえる様々な問題を、県民一人一人が受けとめ、考えることでより良い生活ができ、平和で住みやすい沖縄に変えることができたら、観光客はもっと増えていく事でしょう。

学生の私には、沖縄について知らない事がまだまだたくさんあります。私はこれから伝統文化や歴史、地域の特色、自然の美しさ、そして基地が抱える問題など、多くの知識を得て堂々と胸をはって多くの人に沖縄の良さが伝えられるようにしていきたいです。そしてそういう人が増えてほしいと思います。

十年後の沖縄はどうなっているのか。私が夢に思い描いた未来の沖縄が現実になっていて、波の音を聴きながら、ゆったりとした時間を過ごし、穏やかに暮らしながら幸せを感じることもできる、そんな場所になっていることを強く願っています。